

区長との懇談会開催

平成30年11月6日（火）に、区役所内で区長との懇談会が開催されました。



区役所側からは、区長をはじめ、副区長、総務課長、区政推進課長、地域振興課長、資源循環局神奈川事務所長等のご参加をいただき、区民協議会からは、代表委員、各部会正副部会長が参加しました。

懇談会に先立ち、各部会から質問事項を提出し、それらについて区長からご回答をいただきました。

「後継者と情報の会」は、東京都が実施しているプロボノ事業についてと公的サービスや住民サービスのプッシュ型の取組について質問しました。プロボノ事業に関しては、神奈川区では「かながわ地域支援補助金」や「かながわ区民助っ人BANK」があり、顔の見える関係で区民の皆さまに寄り添った支援を続けていきたいとのことでした。プッシュ型のサービスに関しては、こういった事で困っているのかという潜在的ニーズを把握し「潜在的」を「顕在化」させることが課題であり、地域でお役目を担っている方々との情報共有が必要だとのことでした。

「元気・安心・安全の会」は、大口駅西口周辺の禁煙・清掃に関する進捗状況と新子安駅前に「駅周辺にポイ捨て禁止」ステッカーを道路に貼付したその後の状況について質問をしました。大口駅西口に関しては、JRが清掃委託している業者が月1回定期清掃、駅構内にポイ捨て禁止の掲示物を10枚程度掲示、大口通り商店街と区資源化推進担当による月1回清掃活動、資源循環局街の美化推進課による歩きたばこ防止パトロールを実施しており、来年度は大口駅周辺の清掃委託を入れる予定とのことでした。新子安駅前に関しては、ステッカーを貼付して1年近くになるが駅周辺での路上喫煙は減っていない状況であり、今後タバコポイ捨て禁止のポスター2枚を掲示する予定、様々な手段で自分の地域をきれいにするのを粘り強く伝えていくとのことでした。

「なまずの会」は、災害ボランティアセンターの予定と区と拠点との合同訓練について質問をしました。災害ボランティアセンターに関しては、平成30年3月9日付で区と区社協で「神奈川区災害ボランティアセンター設置・運営に関する協定書」を締結し、今年度区社協において発災時にセンターの運営に携わる方を募集する予定、この人員は地域防災拠点委員や町会役員の方々は発災時に役割があるため、青少年指導員、スポーツ推進委員、福祉サークル等の施設の利用団体等に依頼する予定とのことでした。合同訓練に関しては、情報伝達に関する心配についてBWA網の整備を進めており、デジタル移動無線を補完する手段として有効なものと考えているそうです。この地域BWAの使用については、既に民間事業者と話を進めており基地局の整備が整い次第、各地域防災拠点にもタブレット端末等を配備していく予定とのことでした。



各ご回答に関して活発な意見交換がなされ、今後の部会活動の充実に繋がる良い機会となりました。区民協議会は、今後も行政と区民とを繋ぐパイプ役となれるような活動をしていきます。